全權問責演說會

一萬の民衆を集めた

昨夜横濱日本海員組合で

小倉石一郎、長田新也等が壇を擔

一萬の民衆を集めた 全權問責演說會

昨夜横濱日本海員組合で

小倉石一郎、長田新也等が壇を擔

◎女房連も詰寄せて 靜肅に給料受取

大丸太を渡し警官隊を並べた 々々しい警戒を全然裏切つて 全爭千万圓の支拂ひ終る

▽大太丸 を以て出入口を設け郵船々員詰所の窓口を支拂口に當て其一番から七番迄を各工場別とし入番を賃銀檢査係とした、支拂口には夜來の降雪に天幕を張り小山保安課長の指揮する警官隊二百餘名は嚴に依つて物々しい警戒振りを示し會場へは社員の外通行を許さなかつた、午前八時折からの吹雪を突いて職工連や代理の

▽女房連 が續々參集し九時から支拂ひは開始されたが來るは來るは附近は人山を築いて十一時頃迄に窓口で二月十六日から二十七日迄の給料紙受人りの儘に渡された數は約三千に上つたが不

負傷した三職工

警官に毆打されて

檢束を解かれて臥床す 訴訟すると幹部敦圖く

▽兩名は 六日夜漸く檢束を解かれて臥床したが兩名共に檢束當時や引致の途上及拘禁の際に散々毆打された

資金

膽を固め

意氣熾ん

爭議團本部

幹部の一部が檢束された爭議團本部では殘留の多數幹部益々持久戰の膽を固め軍資金として各工場事務所に會し一名に付き一圓宛を蒐集して約四千圓の資金を得た外他よりの同情金もあり、汚々意氣は頗る熾んである、而して爭議團中の造機工職合會では小林與四郎外三名を委員に擧げ造船工組合でも委員選定中で近く是等の委員に依つて會社側と新たに交涉を開始する意向である

米噸の嘆き

會社に舞込む軟派職工の悲慘な嘆願書……

爭議團中には家庭の關係から軟派に轉ずるものも續出の傾向あるが會社へ宛て一職工の女房から『夫は二月から旅行不在中で今回の爭議には參加して居りませんから

▽開場の 曉は宜しくお願ひします云々』の端書が舞込んだり『今回は案外の大爭議と相成候今の處新聞紙上に於ては解決の見込付かず只々米噸の解決が先きと相成り夫婦喧嘩は絶而之無く候へ共若し開場が

▽永引く 場合には外に何とか職業を求め候らねば四月には一文なしと相成次第に御座候就ては會社重役のお宅なり又近所なり知人なりの家に於て拭き掃除湯殿等に御使ひ下さる樣御願申上候、との書面や二日も早く開場する樣に』との嘆願書が可なり到達

鈴木氏も

けふ來援の筈

日本勞働總同盟會本部では船渠爭議に於て松岡理事以下の檢束を見たので七日夜幹部會を開催して其基金弁に第二應援檢派遣等の諸件を凝議したが鈴木會長は今八日來濱の豫定であると云ふに就き爭議團本部でも七日夜最高幹部會を開いた、因に戸部署に檢束され市内各署に拘禁された三十九名中松岡理事以下十三名を除く外は七日夕刻迄に釋放された

東京自由法曹團

奮起して來濱

本日知事警察部長初め各署長を歷訪せん

荻田市議の 爭議團訪問

調停の意嚮で

東京自由法曹團では船渠の爭議に對する檢束の不當に憤慨し橫濱辯護士會が檢束の不當に對する嚴重的行動と同一態度に出たと聞いて奮起し片山哲、澤田兩氏外約十名は調査の爲め八日午後二時頃迄に櫻木町驛に下車、警察の自動車に分乘し檢束を先頭に先づ檢事局に知事及び警察部長を訪問、次で伊勢佐木戸部の順序に各警察署長を歷訪し且つ今回檢束された人々に就て官憲の行動を調査し負傷者の爲めには訴訟の手續きを行ふ筈、七日夕刻爭議團本部に通報があつたと

押掛け

騷々し

失態を

たが第一を置て

だ會場の街は一町に亙つて一般人の民衆が殺到して表硝子を打破慨して騷擾を極めた、所轄署の係官は十名餘の入港を經た頃く松影町日本海員組合事務所へ押掛けると物凄い光景を呈した、定刻署の佐藤、高知兩警部と横山勝太郎、櫻部荒熊兩氏と打合せた結果屋外は容から十時迄屋内は十一時迄に閉會することを約して入替はり立替はり演說は續けられたが

さに屋外の聽衆

ほ立去る氣配もなく階下では小池所より後にして横山勝太郎氏が大勢を代表して十一時全部無事散會したが一時は非常に危險視された

『加藤全權は……平然帝都に入らんとす』と極め飛ばして華府會議開會當時に斷られた儘め七時から開會する事になつたが總衆は忽ち此處に雪崩れ込んで階上階下に滿ち溢れ大混雜を極め天井落下の虞があるので支柱で之を危く防い

東京自由法曹團
奮起して來濱
本日知事警察部長初め各署長を歷訪せん
荻田市議の
爭議團訪問
調停の意嚮で

本部では檢束當局に對し嚴重的行動を採るべき旨申合せ一同は是が調停を試みるべき意嚮にて七日午前爭議團本部に最高幹部を訪問して諒解を得たる處があつた爲め本部でも關係中であるから檢束されたい旨回答した爲め午後一時頃一先づ本部を辭去した